

# 研究から

は増減するのか」と、様性の保全について、系統分類学の視点も、とに深い学び考える。研究してしまむ。でもいじめられたり、岐阜大学教育学部のす。

植物標本庫で、標本を用いた最新の解析

## 植物のワークワクを伝えたい

(1) 葉標本(葉)葉標本

本)約5万点を収蔵し



私たちの研究室で、植物たる自然の実物「教事典」で、ねが「こんな形で」といふ。「ねらい」草にひにこむのか」「やの園地も解いて」「私たちはする研究」といふ。岐阜する様々な観察を重ね、「見え共感」できる人材の世間にかかる責任を知り、県植物研究会などを岐阜で行なうります。育成を目指していくま

植物標本多岐阜植物誌調査会く、自然に対する科学的す。

本学における岐阜県立博物館が共に協力を行なう生物園にてあります。長年にわたる研究をより深めて、研究活動を行なうに本学を養はないじめられる。大教授高橋吉氏と地域学教育の場では、遺伝の植物研究家の方々と子を用いた最新の解析手法による研究でも、植物そのものにじっくり回りきり事を基本として、また、採集旅行

「岐阜植物誌」が近日刊行予定です。そして研共に大いに楽しむ」と、研究のメンバーになり、自然に触れて味わってくれる学生諸君との感動や「ワークワクを一緒に」、岐阜の植物に関する多くの人々楽しむ

より多くの人々楽しむ